

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	住宅リフォーム促進事業費補助金			
担当課係名	都市整備 課	住宅公園 係	作成者	草薨正敏
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画のページ
	基本計画	-		
	主要施策	-		
予算費目	一般 会計	8 款 土木費	5 項 住宅費	1 目 住宅管理費
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	仙北市住宅リフォーム促進事業費補助金交付に関する要綱			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input checked="" type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象（誰のため・何を）	市民
事業の目的・意図（どういう状態にしたいのか）	市内の住宅改善の促進、市民生活の向上及び地域経済の活性化を図る。
事業の内容（どのような業務、活動を行うのか）	申請受付審査から補助金交付までの業務（県リフォーム補助金の申請も受付）

【事務事業の推移】

		項 目	単位	23年度実績			
効果	活動指標	リフォーム件数	目標	件	250		
			実績	件	203		
			達成度	%	81.2%		
	成果指標	補助に関わる総改修費用	目標				
			実績	円	513,634,549		
			達成度				
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)			
	事業費（人件費を除く）(A)			22,343			
	人 件 費 (B)		—	29,677			
	職 員 数		—	3.50			
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479			
	(A) + (B) 投下コスト		—	52,020			
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0		
		県 支 出 金			0		
		地 方 債			0		
		そ の 他			0		
		一 般 財 源			52,020		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	256,256			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	1,748			

【事務事業の今までの成果】

この事業を推進することにより、目的でもある地域経済の活性化が図られている。また、下水道に接続することにより別枠で、100,000円の補助が受けられることから、水洗化率の向上につながっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	県及び他市町村でも実施。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	手続きの簡素化の要望あり

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	県のリフォーム補助へ上乗せでの市補助金であり、22年度・23年度も同等の申し込み件数であるため、今後も原状のまま実施としAと判断した。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	リフォーム件数が200件を超え、住宅改善への支援、更には市民生活の向上と地域経済の活性化にもつながることから、継続実施と考えます。

